

令和 7 年 8 月 2 0 日
第 4 回 J R 川越線利便性向上推進協議会
川越市資料

J R 川越線南古谷駅周辺の まちづくりについて

令和 7 年 8 月 2 0 日

川 越 市



川越市マスコットキャラクター
ときも

目 次

- 1 南古谷駅周辺の紹介
- 2 経 緯
- 3 南北連絡自由通路等整備に係る施行協定
- 4 工事等説明会
- 5 今後のスケジュール
- 6 将来のまちづくり
- 7 アンケート調査の実施
- 8 オープンハウスの実施
- 9 ワークショップの実施

2 経 緯

【現状】

- ・南古谷駅は改札口が南口のみであり、北側からの駅利用者は、鉄道を迂回横断しなければならない。
- ・南口は小規模な駅前広場であるため、バス・自動車・自転車及び歩行者などが錯綜している。

【今後の取組】

- ・都市計画道路や駅前広場などの都市基盤整備による交通結節点機能の強化
- ・南北連絡自由通路を整備して分断された市街地の一体化
- ・都市機能の強化充実を進め、地域の活性化及び賑わいの創出



自動車、バスが錯綜

現在の南古谷駅駅前広場



駅改札口利用者

3 南北連絡自由通路等整備に係る施行協定

【協 定 名】川越線南古谷駅南北連絡自由通路等整備に係る協定書

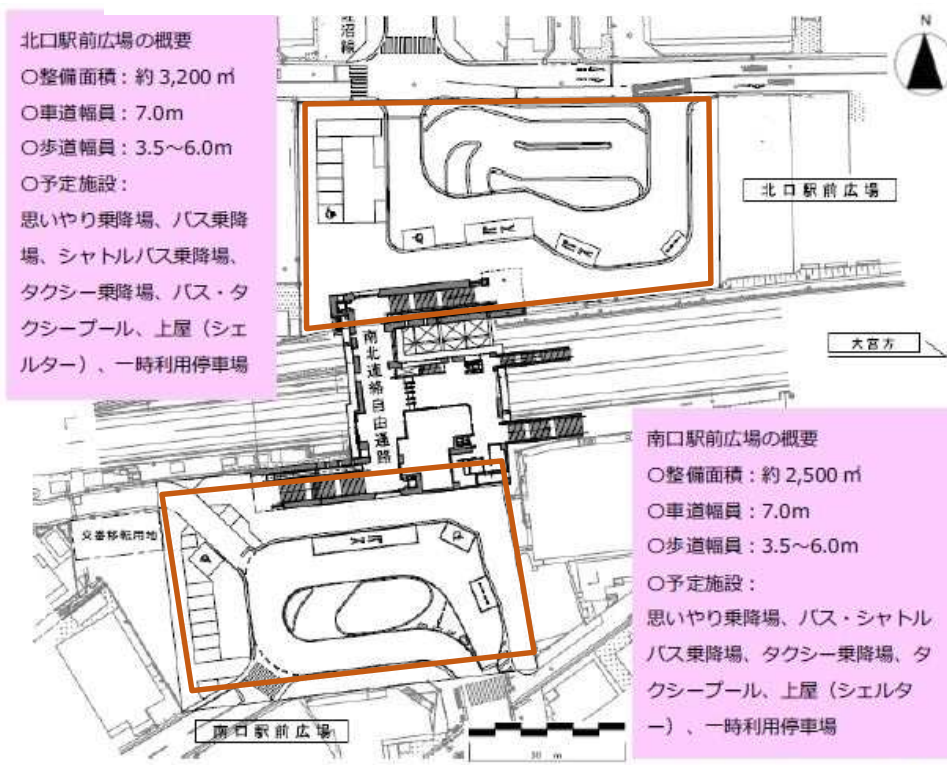
【協定期間】令和6年11月14日～令和10年8月31日

【相 手 方】東日本旅客鉄道株式会社 大宮支社

〈南北連絡自由通路イメージパース〉



〈南北駅前広場の計画平面図〉



4 工事等説明会

○開催日時

(1回目) 令和7年5月3日 (土・祝) 14:00～

(2回目) 令和7年5月8日 (木) 19:00～

○場所

川越市東部地域ふれあいセンター



5月3日の様子



5月8日の様子

5 今後のスケジュール

年度	R7 (2025)	R8 (2026)	R9 (2027)	R10 (2028)
自由通路	仮駅舎設置 ●	整備工事 ☆		供用開始予定 ● 仮駅舎解体 ●
南北駅前広場等	設計 ▶	整備工事 ▶		

6 将来のまちづくり（川越市都市計画マスタープラン：令和6年10月改定）

○まちづくりの理念

- ・本市の特徴である「歴史・文化・伝統」と「緑と水の豊かな自然」と生かしたまちづくりを目指します。
- ・県南西部地域の中核都市としてのシビックプライドもったまちづくりを目指します。
- ・文化的な都市生活および機能的な都市活動が営まれる都市の構築を目指します。
- ・社会情勢の変化に対応した持続可能な都市を目指します。

○将来都市像

人がつながり、魅力があふれ、
誰もが住み続けたいまち 川越

将来都市構造図



	凡		例		都市活動軸	凡		例		都市環境の骨格	凡		例	
	図形	説明	図形	説明		図形	説明	図形	説明		図形	説明	図形	説明
拠点		都市核		水・緑拠点		緑拠点		水・緑ゾーン		緑ゾーン		水・緑・歴史を連携する環境軸		歴史観光拠点
		都市的活動核		水・緑ゾーン		緑ゾーン		水・緑・歴史を連携する環境軸		緑ゾーン		水・緑・歴史を連携する環境軸		歴史観光拠点
		歴史・水・緑核		水・緑ゾーン		緑ゾーン		水・緑・歴史を連携する環境軸		緑ゾーン		水・緑・歴史を連携する環境軸		歴史観光拠点
		地域核		水・緑ゾーン		緑ゾーン		水・緑・歴史を連携する環境軸		緑ゾーン		水・緑・歴史を連携する環境軸		歴史観光拠点
		生活核		水・緑ゾーン		緑ゾーン		水・緑・歴史を連携する環境軸		緑ゾーン		水・緑・歴史を連携する環境軸		歴史観光拠点
		産業拠点		水・緑ゾーン		緑ゾーン		水・緑・歴史を連携する環境軸		緑ゾーン		水・緑・歴史を連携する環境軸		歴史観光拠点

6 将来のまちづくり（地域別構想）



<土地利用>

- 沿道型利用地
- 住宅地
- 農地・樹林地・集落地
- 公園・緑地

<道路・水路・資源等>

- 広域幹線道路
- 都市間幹線道路
- 地域間幹線道路
- 地区幹線道路
- 河川・水路等
- 公共・公益施設等
- 学校教育施設
- 鉄道・駅
- 主要な橋

<都市構造等>

- 周辺環境や地域特性に応じた新たな拠点整備（公共施設等）
- 地域核
- 水と緑の拠点

※（仮称）〇〇線は構想路線であり、上図は具体的なルート・位置等を規定するものではありません。



<土地利用>

- 商業・業務地
- 沿道型利用地
- 住宅地
- 農地・樹林地・集落地
- 公園・緑地
- 都市施設
- 市街化区域・市街化調整区域

<道路・水路・資源等>

- 広域幹線道路
- 都市間幹線道路
- 地域間幹線道路
- 地区幹線道路
- 河川・水路等
- 公共・公益施設等
- 学校教育施設
- 鉄道・駅
- 主要な橋

<都市構造等>

- 地域核
- 面影を残す河岸跡

※（仮称）〇〇線は構想路線であり、上図は具体的なルート・位置等を規定するものではありません。

7 アンケート調査の実施

○調査概要

調査区域：検討地区（南古谷駅を中心に半径400m区域）

調査対象：上記区域内の世帯から1,000件を無作為抽出

調査期間：令和6年11月26日～
12月15日

調査方法：郵送による配布及び川越市ホームページへの掲載

回答方法：WEBフォームによるオンライン回答

○回収状況

配布数：1,000件

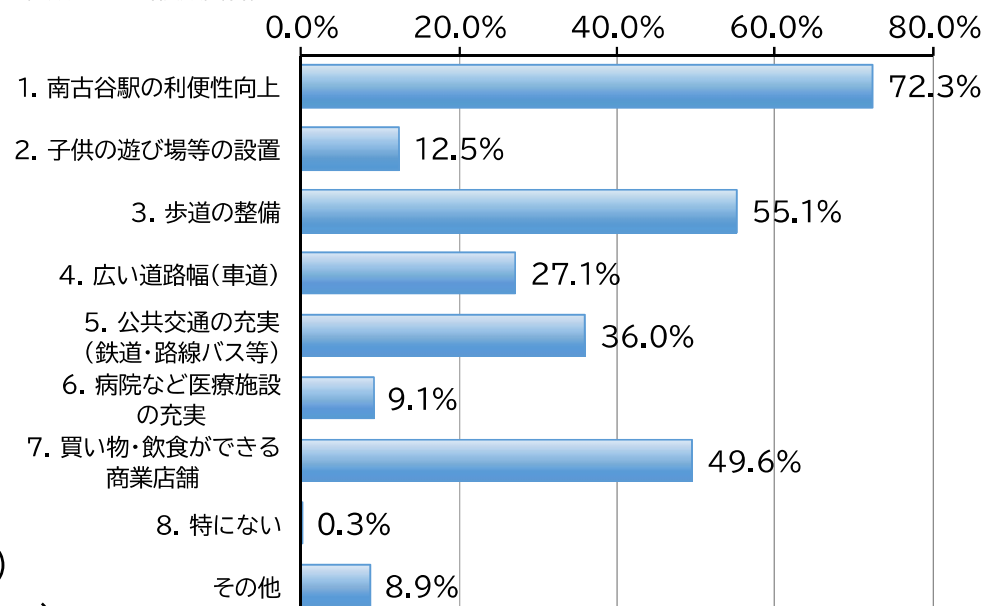
回収数：361件（有効回収数：361件）

回収率：36.1%（有効回収率：36.1%）

〈アンケート調査結果一部抜粋〉

Q 南古谷駅周辺の生活環境について、あなたが望むものは何ですか？（3つまで選択可）

総数=978（複数回答）



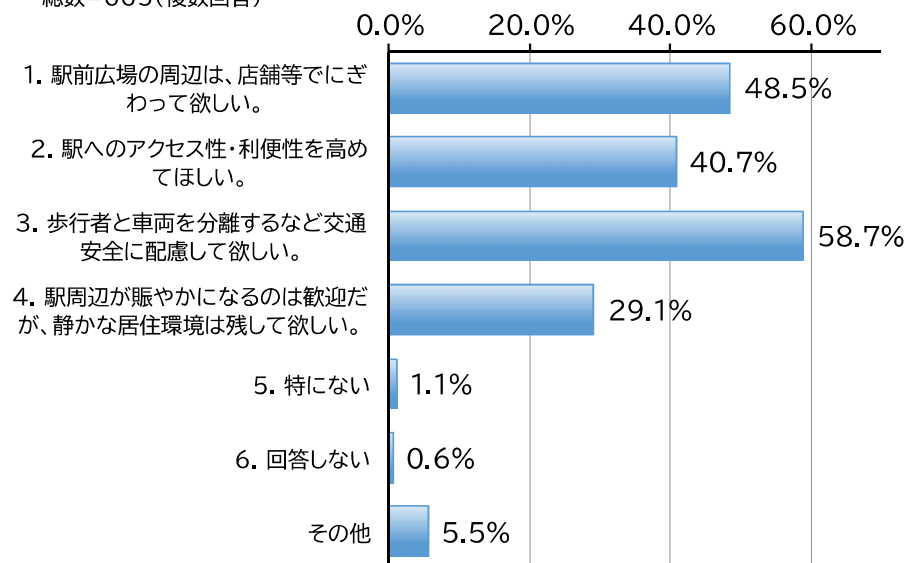
注)割合は回収数(361)を分母としています。

7 アンケート調査の実施

〈アンケート調査結果一部抜粋〉

Q 南古谷駅の南口駅前広場を整備する計画ですが、あなたが駅前広場や周辺に望むことは何ですか？（2つまで選択可）

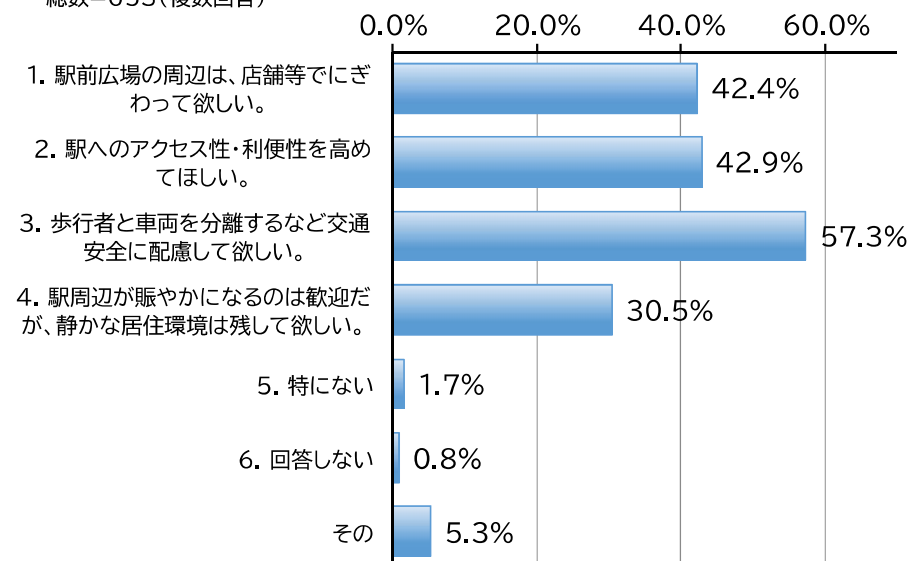
総数=665（複数回答）



注)割合は回収数(361)を分母としています。

Q 次に、北口駅前広場について、あなたが駅前広場や周辺に望むことは何ですか？（2つまで選択可）

総数=653（複数回答）



注)割合は回収数(361)を分母としています。

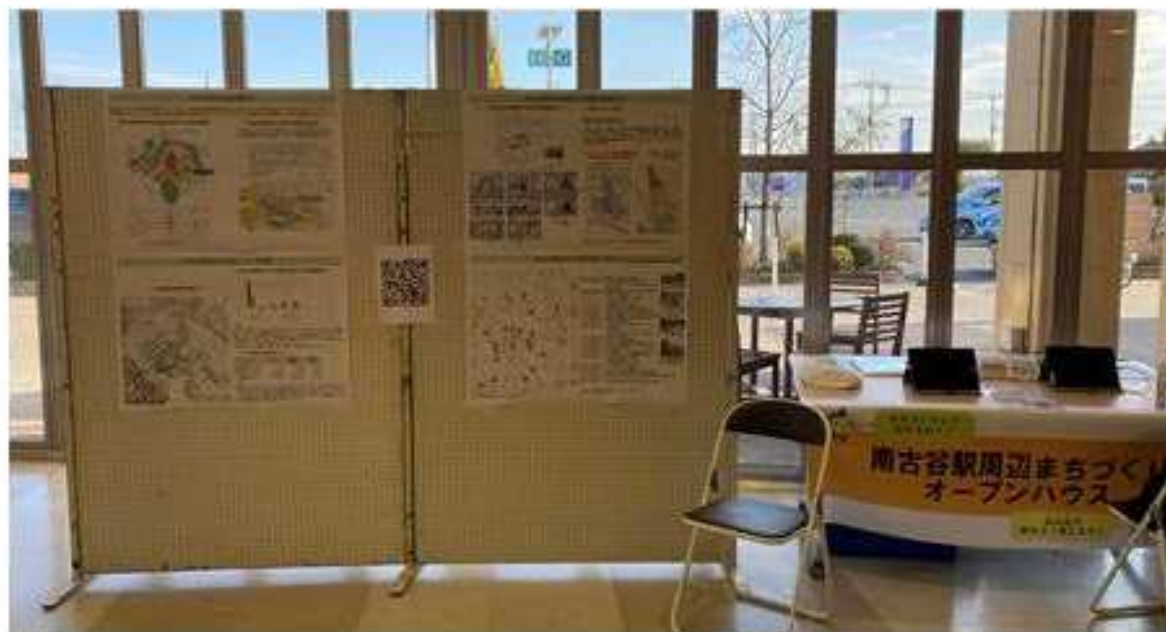
8 オープンハウスの実施

○開催日時

令和7年2月1日（土）
9:30～14:00

○場所

ユニクス南古谷フードコート



9 ワークショップの実施

○開催日時

令和7年2月15日（土）9:00～11:30

○場所

川越市東部地域ふれあいセンター内会議室1, 2

